

西

2020～2021
第2680地区
姫路西RC

Rotary Opens Opportunities

ロータリーは機会の扉を開く

2020～2021年度RI会長 ホルガー・クナーク

会 長 和 正
吉 田 和 正
幹 事 丸 尾 将 満
クラブ会報委員長 吉 原 初 生

- 例会日:毎週水曜日(12:30～13:30) ●会場:ホテルサンシャイン青山 ●クラブ設立 1969年5月7日
- 事務所:(〒671-2222)姫路市青山1464 青山開発(株)内 TEL079(266)5533 FAX079(266)7066
(URL)<http://himeji-west-rc.jp/> (E-mail)himeji-west@tiara.ocn.ne.jp

クラブ会長標語 「親睦、学び、奉仕で、今を乗り越えよう!」
～そして、ご縁を絆に～

2020～2021年度クラブ週報 No.34



新型コロナウイルス感染症拡大による兵庫県への緊急事態宣言延長により
6月2日～16日の例会は休会。

4つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

4月21日(水) 全 Zoom 例会記録

開 会 点 鐘

「それこそロータリー」「クラブソング」

来 客 紹 介…………… 石田文徳会長エレクト

<ゲストスピーカー>

京都大学大学院工学研究科 准教授 山口敬太氏

会 長 の 時 間…………… 吉田和正会長

皆さん、こんにちは！またしても緊急事態宣言が発出されそうな気配ですが、今日も全 ZOOM 例会で行いますのでよろしくお願いたします！

さて、ロータリーの創始者ポール・ハリスは 1868 年 4 月 19 日アメリカのウィスコンシン州ラシーヌで生まれました。ですから、一昨日が彼の誕生日でした。ポール・ハリスは 1947 年 1 月 27 日に亡くなるまでに、自分の始めた運動がシカゴロータリークラブとして発足した実業人仲間の小さなグループから約 30 万人という世界的団体にまで発展するのを見届けたわけですが、ロータリーは今や 200 以上の国と地域に広がり、会員数約 118 万人を上回る世界最大の組織に成長してきました。この間、奉仕の形は変わってきたかもしれませんが人に対する思いやりを大切にするというロータリーの心、奉仕の理念はずっと変わらないのではないのでしょうか。

ロータリーのポリオ・プラス計画という活動は、数十年に亘って行われてきていますがそのきっかけとなったのは、国際ロータリーとフィリピン政府が 1978 年にフィリピンの児童に、ポリオの予防接種を実施したプロジェクトだそうです。フィリピンのプロジェクトでポリオと闘う戦略が開発され、計画実施に必要な諸準備が整えられ、ポリオ・プラスが生まれたのです。そのポリオ・プラス計画はロータリーの創立 100 周年の 2005 年までに、世界中の子供からポリオを撲滅しようとする壮大な人道的奉仕活動でした。その後も、根絶活動として継続され今年の 8 月、WHO はアフリカにおける野生型ポリオウイルスが完全に根絶されたと発表し、野生型の常在国は、アフガニスタン、パキスタンの 2 か国だけとなっています。もし今、根絶活動をストップしたら、10 年後には 1 年に 20 万人もの子供達がポリオによるマヒ障害に侵される可能性があるそうです。従って、我々ロータリアンは今後も、これら 2 か国からポリオをなくし、他の国でのポリオ再発を防ぐため引き続きワクチンに対する信頼を築き、ワクチン配布などの活動資金を集める協力を続ける必要があるのではないのでしょうか。

明後日 4 月 24 日から 30 日まで、「世界予防接種週間」です。数十年にわたるポリオ撲滅活動では、ワクチンの有効性を人々に伝える上で、ロータリーは重要な役割を果たしてきました。そんな中、世界各地で新型コロナワクチンの接種が開始され、日本でも、他力本願とはいえ、また、この様に短期間で開発されたワクチンのため重大な副作用が出る心配もある中、ようやく各地で接種が開始されています。我々ロータリアンは、ポリオ根絶活動における経験を生かして、それぞれの地域社会で、ワクチン接種による効果は大きいものがあり、そして諸外国では感染者数が大幅に減少している事例も報告されている等と、何らかの啓発の役割を果たすと共に、遅まきながらもさらなる国の支援による新型コロナワクチンの自国開発が少しでも早く達成され、わが国において安定的かつ継続的な接種が出来るよう、強く訴える必要があるように思います。

さて、今日は、京都大学大学院工学研究科の山口敬太准教授に、ZOOM で京都から卓話をお願いいたしております。お話は、私たちの身近な街である「網干のまちづくり」と題して頂く予定です。それでは、山口先生、後程よろしくお願いたします。

出席報告

“出席は第一のクラブ奉仕である”

会員数	出席数	当日出席率	前々週メークアップ数	出席免除者	前々週欠席者数
58	-	-	5	6	4

< 4 / 7分メークアップ会員 >

3 / 3 1 (eクラブ) 岡田会員

4 / 7 (eクラブ) 本田会員

4 / 1 2 (eクラブ) 山崎会員

4 / 1 (姫路中央 RC) 中村 (浩) 会員

4 / 9 (eクラブ) 永岡会員

ニコニコ箱

島田進一副 S A A

石田・島田・丸尾・山水・吉田 各会員

・・・山口先生、本日は Zoom ですが、よろしくお願いいたします。

プログラム

「網干のまちづくり」

京都大学大学院工学研究科 准教授 山口敬太氏



山口敬太
(京都大学)



旧網干銀行 大正11 (1922) 年築



関わりの経緯

旧網干銀行の保存・活用へ
(新オーナーとの出会い、キュービット=河北)

「網干の研究をしたい。
まちづくりに関わりたい。」
(網干出身河北 + 姫路出身の山口)

(続きはロータリー HP に掲載しています)

< 4月28日(水) 休会 >

会長の時間…………… 吉田和正会長

皆さん、こんにちは！

先週の会長の時間で申しました通り、兵庫、大阪、京都、東京に緊急事態宣言が再発出されました。昨年4月7日に第1回目の発出があって、今年の1月14日に再々発出、そして今度は3回目です。要請の中身、期間とも厳しいものである必要があると思っていましたが、結局、期間は4月25日～5月11日と思った以上に中途半端な宣言だと言わざるを得ません。とやかく言っても始まりませんので、私たちは、出来る限りの自粛をし、そして不要不急の移動は控え、しかも出来る限りの感染予防に努める以外はないのではないのでしょうか。

当クラブは、先日、皆さんにお知らせしたとおり、本日4月28日と5月12日は休会とします。その後、5月19日以降については、緊急事態宣言が5月11日で解除になり、市内での週平均の新規感染者数が10人以下になっておれば、5月19日からはハイブリッド例会を再開できるのではないかと考えています。そうでなければ5月19日は全ZOOM例会または休会になるのではないかと思います。

なお、5月12日の理事会については、懸案事項もありますので、当日13時30分より、姫路商工会議所の会議室にて、対面式で開催したいと考えています。ご足労をお掛けしますが、理事・役員の方は、どうぞよろしく願いいたします。

さて、今日は、本来は石田会長エレクトによる会長エレクト研修セミナー(PETS; President—Elect training Seminar)報告の予定でした。昨年、私がエレクトの時も、新型コロナウイルス感染症が蔓延し始めた頃でしたから、PETSも開催されず、その紙資料が配布され、4月も後半になってから、ビデオ配信があっただけで、地区研修協議会も同様の扱いでした。また、明日は本年度の地区研修協議会の予定ですが今のところ、会長エレクト、幹事エレクトのみの出席で、オンライン配信とのことで、奉仕委員会等の各セミナーは行われなようです。

私の年度は、PETSすら開催されなかったのですが、今年は曲がりなりにもPETSや地区研修協議会が開催されるようで、石田会長エレクトはオンライン併用のPETSも受けられたわけですし、次年度は是非ともコロナが収束して、少しでも通常に近いクラブ運営ができることを心よりお祈りしたいと思います。

さてさて、「それでは、石田エレクトの方から、PETS報告を」という所ですが、本日のところは、石田エレクトのまとめられた資料を、「会長の時間」と一緒に配信したいと思います。今後の感染状況を見極めなければなりません、石田会長エレクトには、5月19日のクラブ準備アッセンブリーか、6月の第1週又は第2週の会員卓話の時間を融通させて頂くかして実際にお話しをしていただくことになるのではないかと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、これで会長の時間を終わります。ありがとうございました。

幹事報告…………… 丸尾将満幹事

○ガバナー事務所より「マンガ ロータリー財団の父 アーチ・クランプものがたり」が2冊頂いております。ご希望の方は事務局へご連絡をお願いします。

○西播グループ内各ロータリークラブより新型コロナウイルス感染症拡大が続く中での緊急事態宣言発出による例会休会のお知らせがまいっております。

姫路 RC 4月27日(火)・5月 4日(火)

姫路南 RC 4月26日(月)・5月3日(月)・5月10日(月)
姫路東 RC 4月26日(月)・5月3日(月)・5月10日(月)
神崎 RC 5月6日(木)
姫路中央 RC 5月6日(木)
相生 RC 4月28日(水)・5月5日(木)・5月12日(水)

- 「第4回クラブアッセンブリー」を5月26日(水)例会終了後に開催しますので理事役員・副幹事・委員長はご出席ください。
また、19日(水)までに後半事業報告書のご提出をお願いします。
追ってメール・FAXにてご案内をいたします。

〈2021年会長エレクト研修セミナー (PETS) 報告〉

石田文徳会長エレクト

2021年会長エレクト研修セミナーに年3月14日(日)神戸ポートピアホテルで開催され参加を致しましたので報告します。

国際ロータリー第2680地区 ガバナーエレクト 吉岡 博忠氏よりR Iテーマ・年次目標、および地区運営・活動方針等について説明がありました。

2021-22年度R I会長 シェカール・メータ氏

「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」

人のために世話をし、奉仕をすることが最良の生き方。なぜなら、その経験を通じて誰かの人生だけでなく、自分の人生を豊かにできるのだから をテーマとされました。

カルカッタ・マハナガル・ロータリークラブ(インド、西ベンガル州)に所属するメータ氏は、ロータリー国際協議会中の2月1日、次期地区ガバナーに向けて2021-22年度の会長のテーマ「奉仕しようみんなの人生を豊かにするために」を発表しました。地区ガバナーエレクトを研修するための年次行事である国際協議会は当初、オーランド(米国フロリダ州)で開催予定でしたが、感染拡大のためバーチャル(オンライン)で開催されました。

ロータリーでの奉仕プロジェクトへの参加を通じて自身が人間として成長したことに触れたメータ氏は、その経験を通じてほかの人のニーズに目を向けるようになったと述べました。クラブ入会后まもなく、メータ氏はインドの僻村を支援するプロジェクトに参加しました。そこで村人たちの状況を目にしたことで、奉仕への思いが固まりました。

「同胞たちが抱える苦境を真に理解しました」とメータ氏は語り、その後も、子どもへの義肢の寄贈、家庭への安全な水と衛生設備の提供、地域の医療施設の改善など、数々の取り組みに参加しました。

「ロータリーが私の心に火をつけました。自分の身の回りを越えたところに目を向け、人類全体を考えるようになりました」とメータ氏。「奉仕が私の生き方となったのです。多くの方々と同じように、“奉仕とは、自分がこの地上に占める空間に対して支払う家賃である”という信条を持つようになり、メータ氏は、次期ガバナーに対し、次年度に自らが模範となって導き、測定可能・持続可能なインパク

トをもたらす奉仕プロジェクトへの会員の参加意欲を引きだすよう呼びかけました。

また、各クラブが「ロータリー奉仕デー」を実施することを求めました。

多様性と会員基盤の向上に焦点を当てる

メータ氏は、2021-22年度には会員が女子のエンパワメントに力を注ぎ、教育、リソース、奉仕、機会など、未来の女性リーダーの成功に必要な手段を与えてほしいと述べました。その上で、多機能性、公平さ、開放性に対するロータリーの信念を会員が活動の指針とすることが大切であると語りました。ロータリーが私の心に火をつけました。自分の身の回りを越えたところに目を向け、人類全体を考えるよういになりました。

「世界各地で女子は多くの問題に直面しており、リーダーである皆さんは、こうした女子が抱える問題にロータリーが取り組み、それを和らげるようい導くことができます」

奉仕を通じて大きなインパクトをもたらすには、ロータリーの会員基盤を広げる必要がある。とメータ氏。全世界の会員数は、過去20年間、約120万人のまま横ばいです。このため、2022年7月1日までに130万人に増やすことを目指して地区で率先して活動するよう、次期ガバナーに呼びかけました。

メータ氏の「みんなが一人を入会させよう」は、今後17カ月間、全会員がロータリーに一人を入会させることを求めるイニシアチブです。

会員基盤を広げながら、ポリオ根絶活動、Covid19との闘い、地域社会への奉仕を続けていくのは野心的な目標であることを認めた上で、「だからこそ皆さんの意欲が駆り立てられるでしょう」とメータ氏「挑戦に立ち向かうのがロータリアンだからです」と語られました。

2021-22年度の国際ロータリーとロータリー財団の年次目標

昨年11月・12月度RI理事会において、2021 - 22年度の国際ロータリーとロータリー財団の年次目標、下記優先事項1～4がだされました。

優先事項1「より大きなインパクトをもたらす」の目標

1. ポリオを根絶し、ロータリーの役割を強調する。
2. 年次基金とポリオプラスへの寄付を増やしつつ、2025年までに恒久基金を20億2500万ドルまで成長させる。
3. 以下の項目における測定可能なインパクトを向上させ、効果的にコミュニケーションする。
4. 人道的プログラムの世界的な実績を向上させるため、政府機関との機会を含め、新たなパートナーシップを築く。
5. より大きなインパクトをもたらすため、プログラムを通じた活動に焦点を当てる。

優先事項2「参加者の基盤を広げる」の目標

6. 以下の方法で、ロータリーの会員数を増やす。
 - a. 既存クラブへの新会員ならびにより多様な会員の入会を促すための行動喚起として「みんなが一人を入会させよう」を強調する。
 - b. 新クラブと革新的なクラブおよび参加者の参加経路を作り出すことにより、参加者の増加と多様化を図る。
 - c. 理事、地域リーダー、地区会員増強委員長間の協力とアカウントビリティを高める。
7. ソーシャルメディアにさらなる焦点をあてることを含め、ロータリーのブランドと

イメージを強化する。

優先事項3「参加者の積極的なかかわりを促す」の目標

8. テクノロジーを生かすことを強調し、インターアクトクラブ、ローターアクトクラブ、ロータリークラブの会員、その他のロータリー参加者の積極的なかかわりを促す。
9. すべての参加者、特にロータリークラブとローターアクトクラブの間の協力を増やす。
10. 中核的価値観を積極的参加の中心に据える。
11. ロータリー参加者間のビジネスのためのネットワークの機会を通じ、積極的参加を向させる。

優先事項4「適応力を高める」の目標

12. 直接会う会合、研修、ファンドレイジング、奉仕プロジェクトを最適化するため、バーチャル技術の使用と支援・奨励する。
13. ボランティアのリーダーシップ構成を見直し、責務とアカウントビリティを向上させる。
14. ガバナンスとサービスの提供における地域化を支援する。

2021-22年度 R I 2680 地区活動方針・ガバナーの行動指針

「ロータリーとともに活力に満ちたリーダーを育てるために」

地区運営方針並びに重点目標

- ・ R I テーマおよびロータリーの目標の達成を目指して、ロータリー活動を推進する。
- ・ 全てのロータリー活動が、リーダーとしての「人材育成」となることに重点をおく。
- ・ ロータリーのプログラムを積極的に支援し、ロータリーと地域社会、世界とのつながりを深める。
- ・ ロータリアンのロータリー並びに R I や地区への関心を高め、多くの会員の参画を求める。
- ・ オンライン会合をサポートする。

各委員会の活動

- ・ 地区での奉仕を通じて、ロータリー活動をより前進させる。
- ・ 委員会相互間の情報交換を密にし、効果的に委員会活動を行う。
- ・ 全ての委員会活動がリーダー育成に資するものとする。
- ・ 効果的な委員会セミナーを企画する。
- ・ 定期的に委員会を開催し、委員の参加意識を高め、リーダーの育成に努める。

当クラブから三宅 敬会員（国際奉仕委員会 国際奉仕小委員会 委員）、藤橋 拓志会員（国際奉仕委員会 V T T小委員会 委員）が地区より委嘱されました。

よろしくお願ひします。

国際奉仕委員会

- ・ 国際奉仕プロジェクトを推進するための人材育成に向けた研修を実施する。
- ・ クラブや地区がグローバル補助金等を活用し、多様な国際奉仕活動が実施できるように支援する。
- ・ V T T、奨学金平和フェロシッププログラムを支援する。

- ・効果的なセミナーを実施する。
- ・国際奉仕に関連する月間において、クラブの関連プログラムに協力する。

2021-22 年度数値目標

1.	会員増強	各クラブ純増2名
2.	My Rotary登録率	75%以上
3.	ロータリー財団年次基金	1名あたり 160ドル
4.	ロータリー財団恒久基金	ベネファクターまたは遺贈友の会会員の10名増
5.	ポリオ基金	1名あたり 40ドル
6.	米山記念奨学会	1名あたり 17,000円

以上、ガバナーエレクト 吉岡 博忠氏よりR Iテーマおよび地区運営・活動方針について説明がありました。

また、クラブ会長の役割と責務 クラブの戦略計画について、次期地区研修リーダー 矢野宗司氏をはじめ下記の方々のご講義がありました。

- ・国際ロータリーの動きについて 直前R I理事 三木 明 氏
- ・COVID-19 禍におけるクラブ運営について 次期クラブ管理運営委員長 矢坂 誠徳氏
- ・会員維持増強のための会長の役割について 次期会員維持増強委員長 梅原可奈子氏
- ・地区の青少年奉仕活動について 次期青少年奉仕委員長 三木 健義氏
- ・ロータリー財団の活動について 次期ロータリー財団委員長 丸尾 研一氏
- ・地区補助金プロジェクトについて 次期補助金小委員長 佐茂 省治氏
- ・米山記念奨学事業の現況について 次期米山記念奨学委員長 武本 正照氏

当クラブも、吉田会長が体験談として「奉仕の実践について」をテーマに2020-2021 ロータリー財団地区補助金プロジェクト「新型コロナウイルス感染症流行に伴い除菌液の配布」事業、2020-2021 年度2680 地区特別会計支援金プロジェクト「いのちの絆を未来へつなごう～語り継ぐ震災、今、あなたと共に～」事業について詳細にまとめられた活動報告がありました。

これらの講義内容をもとに地区とも連携を密にし、また、下記西播第1グループの方々とも協議・連携し、次期年度に向けた当クラブの事業計画の作成を進めてまいります。

西播第1グループ 2021-22 年度ガバナー補佐とクラブ会長・幹事（敬省略）

ガバナー補佐	松井 正光（姫路中央）		
姫路	会長 木谷 憲一	幹事 日下部 聡	
姫路南	会長 鎌谷 一磨	幹事 梶原 敏樹	
姫路西	会長 石田 文徳	幹事 関本 慶次郎	
姫路東	会長 清瀬 一郎	幹事 前川 隆嗣	
神崎	会長 常次 佳丈	幹事 尾上 克具	
姫路中央	会長 山本 美比古	幹事 藤森 久嘉	

以上

< 5月12日(水)休会 >

会長の時間 吉田和正会長

皆さん、こんにちは！

とうとうというか、やはり、緊急事態宣言が解除されず、5月末まで延長されることになりましたが緊急事態宣言下でのGW、皆さんどのようにお過ごしでしたか？私は明石に住む娘夫婦と孫が来てくれ「何もしないGW」ではなくなり、孫と家の中でワイワイと、そして近所の公園へ行ったり、電車を見に駅の方に連れて行ったり結構楽しく「お家GW」をいたしました。元々、昨日までが緊急事態宣言の期間だったのですが多分延長されるだろうと踏んで、今日の例会を休会にしていたましたが、まさにその通りになったわけです。

さて、5月は、ロータリーでは奉仕の第5部門である「青少年奉仕」月間です。

青少年奉仕部門は、2010年規定審議会の『「第5部門」「青少年奉仕」を加える件』で、「新世代奉仕」に修正採択され、2013年規定審議会で「新世代奉仕」から「青少年奉仕」に名称変更となり、今、国際ロータリーの奉仕の第5部門「青少年奉仕」になっています。「青少年奉仕」部門では、インターアクト、ローターアクト、RYLA、青少年交換などの各プログラムが実施されており、12歳から30歳までの若人を対象に年齢別・プログラム別にテーマを設けることで青少年の育成を図り、国際社会・地域社会さらにはロータリアンのリーダーに醸成し、平和でより良い幸せな未来を築く礎となることを支援するロータリーの最も重要な奉仕部門の一つです。

今後ますます少子高齢化が進む日本で、明日のリーダーを育てることの重要性を理解し、様々なプログラムや活動を通じて、地域社会やクラブの未来を担う才能豊かな若者たちのリーダーシップを養う人材育成、そしてそれを地域社会に還元させる導きが大切だと思います。しかし、当クラブでは「青少年奉仕」プログラムに対し、あまり積極的な活動を展開していません。我々も、ロータリアンとして青少年奉仕の重要性を自覚し、新世代に対する支援を今後どのような形でしていくのかは一人一人が再確認すべき課題の一つではないかと思っています。

そうした意味で、本来は今日、横山青少年奉仕委員長、三宅プログラム委員長の企画で、地区の青少年奉仕委員会で活動されておられる、姫路ロータリークラブの三木健義会員にお出でいただき、『地区における「青少年奉仕」の現状と課題など』についてお話頂く予定でしたが、休会となりましたので残念ながらお聞きすることができなくなりました。事前にご準備頂いた三木様には、お詫び申し上げますと共に次年度にでも来て頂きお話を聞く機会を作っていただければと、石田会長エレクトに託しまして、本日の会長の時間といたします。

ありがとうございました。

< 5月19日(水) 休会 >

会長の時間 **吉田和正会長**

皆さん、こんにちは！

緊急事態宣言も5月末まで延長されましたので、本日、そして26日は休会としました。

姫路市内でも、高齢者のワクチン接種予約が始まり、6月初めから接種開始のようですが、皆さんの中にも予約をされた方もおられるのではないのでしょうか。今の状況では、果たして月末で緊急事態宣言が解除され、我がクラブの例会が開催出来るかどうかという感じです。

そんな中、5月23日(日)には、赤西会員が姫路城大手門からお城入口までの約200mを聖火ランナーとして走られる予定でしたが、緊急事態宣言が延長となったため、三の丸広場でのセレモニーだけになるのかも分かっていないようです。どちらにしろ、皆で直接応援できないのが残念です。とにかく、NHKの放送でも、赤西会員の雄姿を見たいものです。

皆さんもしっかりと、応援いたしましょう！

それでは、本日は、先週開催いたしました理事会の報告をしておきたいと思います。

① **新入会員について；**

会員の皆様にも、承認のお願いをしていますが、入会申込の方が一人出てきました。

うれしいことに我がクラブで二人目となる女性です。会員の皆様のご承認を頂き、緊急事態宣言の延長がなければ、今のところ、6月9日にインフォメーションを行った後、入会の運びとなる予定です。

これで、本年度の会員は純減1名となり、会員総数59名として石田年度に引き継げるのではないかと思います。

また、先日の会長の時間で報告いたしましたが、故中谷会員、故田寺会員のご子息、そして入会勧誘

中の方々などについて、計画的、戦略的な増強を進めていくため、本年度の藤橋会員増強委員長、中村会員選考委員長と共に次年度会長、幹事、会員増強関係委員会委員長を交え、本年度の状況、反省を踏まえ、次年度に向けての引継ぎをすることを、再確認いたしました。

② 5月19日以降の例会及びロータリー活動について；

本件につきましては、12月理事会で決めた「ロータリー活動開催についての目安」に従い、5月19日、26日は休会とし、その後、緊急事態宣言が延長されるかどうか、そして市内の感染者の状況を併せ見て毎金曜日に次週の例会の開催について判断し、会員に連絡させて頂くこと（例えば、6月2日については5月28日に判断して決定）を全会一致で確認いたしました。また、

・本年度最終クラブアッセンブリー（5/26 予定）については、19日を期限として各委員長さんから提出いただいた文書をまとめて、後日、皆様にお知らせいたします。

次年度第1回準備アッセンブリー（5/19 予定）についても、次年度各委員長との文書によるやり取りをした後、6月16日に第1回の準備アッセンブリーを開く予定と石田会長エレクトより発言がありました。皆様には追って事務局より連絡が入ると思いますので、よろしく願いいたします。

③ 本年度の食事代の取り扱いについて；

本件につきましては、本年度はこれまでの42回の例会のうち、全ZOOM例会が9回、休会が9回となっており、今後、今日と26日は休会としていますので、残りの例会5回すべてハイブリッドでできたとしても、20回、約4割が食事なしであったこととなります。食事代+例会場費の出費を精査しますと、4月末で約400万円、残り5回で約80万円の出費とすると計約480万円となり、予算額630万円との差額が約150万円余となります。この残余金をどう処理するかについて協議いたしまして、元々、本年度の本会計予算の繰り越し額が約15万円、というゼロに近いスタートであったこと、そして次年度石田年度の本会計予算の逼迫を回避すること等を鑑みまして、本年度本会計実績としては各委員会の予算未消化分が発生いたしますが、全て次年度本会計予算に繰り入れることを全会一致で承認いたしました。

④ 各委員会事業について；

・親睦委員会：

片岡親睦委員長から、年度末親睦例会は、昼間の親睦ゴルフコンペを青山ゴルフクラブにて行い、夕刻の例会と懇親会をホテル日航姫路にて行い、食事会、ゴルフコンペの表彰式、新入会員紹介等をするという企画としたいとの説明がありました。

また、ウィズコロナの状況を鑑み、今回は会員のみの年度末親睦例会としたいとの提案も含め、全会一致で承認いたしました。ただし、緊急事態宣言の延長も可能性があるため、本件については、次回6月理事会においても、再度審議、協議することとしました。

・プログラム委員会：

三宅プログラム委員長から、6月2日、9日、16日の例会プログラムについて、

2日（水）「PETS 報告及び次年度運営方針」石田文徳会長エレクト

「はりま うまいもん話」帽田剛史会員

9日（水）「演題未定」陸上自衛隊姫路駐屯地 司令 小松隆司氏（備谷会員担当）

16日（水）「姫路西 RC 特別番組制作現場～コロナ禍における番組制作と放送」

姫路ケーブルテレビ(株)放送部リーダー 福岡真弥氏

としたいとの説明があり、全会一致で承認いたしました。

さて、本日は、令和人間塾人間学 lab. の竹中栄二様にお出でいただき、卓話を頂くことになっておりましたが、残念ながら、休会ですのでお話が聞けません。藤橋会員におかれましては竹中様へのお知らせと共に次年度プログラムにでも考えて頂くようよろしくお願いいたします。

それではこれで会長の時間を終わります。ありがとうございました。

幹事報告..... 丸尾将満幹事

○嶋田幸直 ロータリーの友委員会 地区代表委員（西脇 RC）より「ロータリーの友 5月号」紹介記事がまいてっておりますので添付いたします。

○（公）米山記念奨学会より「ハイライトよねやま vol. 254」がまいておりますので添付いたします。

○西播グループ内各ロータリークラブより新型コロナウイルス感染症拡大が続く中での緊急事態宣言発出の延長による例会休会のお知らせがまいております。

○高砂青松 RC 5月19日（水）・5月26日（水）

○2020～21年度各委員長様に「後半事業報告」の提出をお願いしておりますが、締め切りが本日までとなっておりますのでまだの委員長様は提出下さいます様お願いいたします。

< 5月26日（水）休会 >

会長の時間..... 吉田和正会長

皆さん、こんにちは！

緊急事態宣言が延長されてから、早や2週間が経ちましたが、兵庫県内の医療体制の逼迫度は少しは改善されているもののまだまだステージ4の状態から抜け出せず、緊急事態宣言の再延長のようです。こんな状態の中、オリンピック・パラリンピックを開催するべく、聖火のリレーが先日、姫路にもやってきました。県が非常事態宣言下にあるので、公道でのリレーはせず、姫路城三の丸広場で走る予定だった人達によるトーチキスがありました。聖火ランナー赤西会員は元々は姫路城の大手門から姫路城入り口回りまでの約200mを走られる予定でしたが、無観客ということで残念ながら直接見るできませんでした。それにしてもこんな状態で本当にオリ・パラを開催するのでしょうか？国内の一般の患者さんやコロナの患者さんの対応とワクチン接種に集中した医療体制を確保すべきと思います。確かにこの大会を目指し鍛えてきたアスリートのことを思えば複雑ですが、疑問符だらけの今日この頃です。とは言え、もうすでにこの時期、退くも地獄、進むも地獄のようで誰もやめるとは言わず、いや言えず、開催するしかないのでしょうか？

さて、今日、5月26日の夜、晴れていれば、全国で皆既月食が見られます。月食とは、太陽、地球、月が一直線に並ぶ時、地球の影の中を月が通過することによって月が暗くなったり欠けたように見えたりする現象です。1年に12～13回見ることができる満月の内で最も大きく見える満月の事を「スーパームーン」と呼びますが、今回の皆既月食の満月は今年で最大だそうで、いわば「スーパームーンの皆既月食」と言えます。月食は月が見える場所であればどこでも同時に起こり、日食のように観察地によって時刻が変わるということはなく、全国どこでも同じタイミングで始まって終わります。ただし、同時刻であっても月がかなり天空低く、皆既食の最中は約15度、月食終了時で約25度のようです。皆既月食中は地球の大気によって赤い光が屈折して影の内側に入り込み、月は赤銅色に見えるそうです。

今日、18時45分頃から満月だった月が下側から刻々と欠けながら昇っていきます。月が赤銅色に見える時間帯は20時11分から20時26分のわずか15分間です。その後は徐々に欠けた部分が小さくなっていき、21時53分に部分食が終わるそうです。この日は低空での現象のため、南東方向の空の開けた場所で見たいものです。

スーパームーンと月食のタイミングが重なることは比較的珍しいようで、前回は2015年9月28日(日本からは見えず)で、次回は2033年10月8日まで起こらないそうです。スーパームーンといっても特別なことが起こるわけでもありませんが、少し意識して観察したり、撮影をしたりするのも一興でしょう。ただし、今年は早くも梅雨ですから晴れるかどうかわかりませんが、見ることができるなら皆さんも赤銅色の神秘的な月を眺めては、ワクチンを大多数の国民が接種され、このウィズコロナの時期が一刻も早く終息するよう祈りましょう！

それではこれで会長の時間を終わります。ありがとうございました。

幹事報告……………丸尾将満幹事

○兵庫陶芸美術館より「特別展『受贈記念 赤木清士コレクション古伊万里に魅せられて一江戸から明治へ』」の開催ご案内がまいっておりますので添付いたします。また、招待券を5枚頂いておりますのでご希望の方は事務局までお申し出下さい。

○6月23日(水)「年度末親睦例会」「親睦ゴルフコンペ」の返信締め切りは今週28日(金)までとなっておりますので、お返事のまだの方はよろしくお願いいたします。

○2021～22年度事業計画書の提出締め切りは5月末となっておりますので次年度委員長様でまだの方はご提出よろしくお願いいたします。

<例会変更通知>

姫路中央 RC 6/17「最終例会」於；福亭

会報委員会では、皆様により親しんで頂ける会報作りに努力致しております。趣味や、読まれた本の紹介、雑感、企業情報等ご投稿下さいますようお願い致します。

クラブ会報委員会

委員長：吉原初生 副委員長：田路裕之・山水 満 委員：横田盛策・吉井雅康

電子メールの方は下記までお送り下さい。
事務局 himeji-west@tiara.ocn.ne.jp